

平成20年度金融知識普及功績者一覧

〔個人の部〕

1. 高橋 昭夫
(栃木県) ・地域における金融分野を中心とした講演活動を積極的に行うなど、金融知識の普及に貢献。
2. 照井 マキ子
(栃木県) ・学校教員向けの研修会における講演活動や、学校教育向け教材の作成等を通じて金融知識の普及に貢献。
3. 関根 芳美
(新潟県) ・地域における金融分野の講演活動や、マスメディアへの出演、新聞・情報誌等への連載など情報発信を積極的に行っており、金融知識の普及に貢献。
4. 内田 まゆみ
(山梨県) ・高校生を対象とした「多重債務問題」や高齢者向けの「金融商品トラブル」などをテーマとした幅広い講演活動を積極的に行っており、金融知識の普及に貢献。
5. 橋渡 泰子
(富山県) ・地域における金融分野の講演活動や、マスメディアへの出演等による情報発信を積極的に行うなど、金融知識の普及に貢献。
6. 安藤 絵理
(静岡県) ・中学校、高等学校、一般向けや「親子セミナー」など幅広い講演活動を積極的に行い、金融知識の普及に貢献。
7. 松尾 保美
(大阪府) ・「金融商品」、「保険」分野を中心に地域住民向けの講演活動を積極的に行っており、金融知識の普及に貢献。
8. 水嶋 ひろみ
(兵庫県) ・一般市民、高齢者、婦人会などを対象とした、幅広い講演活動を積極的に行い、金融知識の普及に貢献。
9. 丹下 紘
(愛媛県) ・元中学校校長としての経験を生かし、小・中・高等学校、PTAでの講演活動や、教育現場における指導・助言を行い、金融知識の普及に貢献。
10. 浦田 健治
(高知県) ・「金融経済」、「資産運用」、「ライフプランニング」などの講演活動を積極的に行っているほか、大学における非常勤講師としてパーソナルファイナンスを講義するなど、金融知識の普及に貢献。
11. 衛藤 千江美
(大分県) ・小学生向け「夏休み親子スクール」を中心として金融・金銭教育分野において講演活動を積極的に行うなど、金融知識の普及に貢献。
12. 下郡 恵美子
(大分県) ・元金融機関職員としての経験を生かし、「生活設計」、「年金・保険」、「金融商品」、「金融詐欺」、「贈与と贈与税」など、多岐にわたるテーマで講演活動を行うなど、金融知識の普及に貢献。
13. 清水 由美子
(宮崎県) ・消費生活相談員としての経験を生かし、「金融悪質商法」を中心とした講演活動を通じて金融知識の普及に貢献。
14. 玉那覇 清子
(沖縄県) ・長年にわたる教員経験を生かし、小・中・高等学校、大学や自治会など各層に合わせたテーマを設定し、講演活動を幅広く行うなど、金融知識の普及に貢献。

〔団体の部〕

1. 坂東市立七重小学校
(茨城県)
・「こづかいの使い方計画」指導をテーマに、金銭教育の研究に継続的に取り組むとともに、研究成果を踏まえて総合的な学習の時間に金銭教育を取り入れるなど、金融経済教育に積極的に取り組んでいる。
2. 国立大学法人
上越教育大学附属中学校
(新潟県)
・全学年の総合社会科において金融や経済を身近に捉えられるテーマでの学習を行ったほか、地元商店街におけるタウンミーティングを取り入れた地域経済学習を実践するなど、継続的な金融教育に取り組んでいる。
3. 富山県立富山商業高等学校
(富山県)
・全校生徒が株主となって設立された模擬株式会社「TOMI SHOP」を通じて、地元企業の支援を受けつつ金融や経済の仕組みを実践的に学習しているほか、法令順守や企業家精神等を身に付けた創造性豊かな人材の育成に努めている。
4. 大洲市立平野中学校
(愛媛県)
・生徒と保護者を対象として金銭教育に関するアンケートを実施し、金銭教育を実践する際の課題を明確化した上で、外部講師による講演会や税務署職員による税金に関する指導の実施、地元企業・事業所と連携した職場体験学習に取り組むなど、幅広い金融教育の実践に取り組んでいる。
5. 柳川市立豊原小学校
(福岡県)
・地元商店街と連携した体験的な経済活動に関する学習に取り組んだほか、外部講師を招いた講演会も実施し、生徒のみならず、保護者や地域住民に対する金融知識の普及にも取り組んでいる。
6. 長崎県立中五島高等学校
(長崎県)
・生徒による模擬株式会社の設立運営を実践・継続することにより、金融経済教育に取り組んでいるほか、課外活動において「島の活性化」プロジェクトとして地元商工会等と連携、島内の各種産業活性化にも取り組んでいる。
7. 蒲生町立蒲生小学校
(鹿児島県)
・授業に関連させた買物体験やボランティア活動などを通じて、児童に健全な金銭感覚を身に付けさせる学校全体としての「金銭教育全体計画」を策定のうえ、保護者の協力を得つつ、幅広い教科において金銭教育に取り組んでいる。